



日本海

日々の様子は学校
ホームページから！

「藤塚小ブログ」は連日更新中！



一人一人が、かけがえのない大切な「一人」

校長 山田 耕世

12月の全校朝会で子どもたちに次の話をしました。

(子どもたちに提示した資料の概要)

トイレ掃除をきっかけに、「みつるさん」をばい菌扱いする「まさるさん」。学級の中には、「まさるさん」に同調し、「みつるさん」を汚いもの扱いしたり、避けたりする同級生もいた。一方で、「まさるさん」たちの行為に対して、良くないと感じながらも、どうしたらいいか悩んでいる、主人公の「ぼく」もいた。

主人公の「ぼく」は、どうして「みつるさん」に対して何もしてあげられなかったのでしょうか。「まさるさん」たちが怖かったからでしょうか。自分もいじめられると思ったからでしょうか。また、もしも自分が、主人公の「ぼく」だったらどうするのでしょうか。

どんな理由があっても、人をばい菌扱いしては絶対にいけません。また、友達関係の中で「あの子は〇〇だから…」と一方的に決めつけて、仲間はずしをすることも絶対にいけないことです。

いじめは、「暴力」「人の物をとる・隠す・壊す」「ズボン下ろしなどの恥ずかしいことをする」「仲間はずし・無視」「インターネットで悪口を流す」だけではありません。普段何気なく使っている言葉に関わる、「からかい」や「暴言(死ね!消えろ!キモ!うざい!など)」もいじめです。自分ではそんなつもりでなくても、相手が「いやだ」「やめてほしい」と感じることは、すべていじめになるのです。そして、いじめは命に関わったり、犯罪になったりすることもあるのです。

先日、紫雲寺中学校で、「いじめ見逃しゼロ集会」がありました。6年生が参加し、中学生や紫雲寺小学校、米子小学校の子どもたちと話し合いをしてきました。その際、6年生の代表の3人が藤塚小学校の取組を発表してきました。全校でも、5・6年生の運営委員会が中心となって、12月14日(木)に「ふわふわハート集会」を開催し、人権について考えていきます。



私たち一人一人は、かけがえのない大切な「一人」なのです。

私たちは人間です。完璧ではありません。ややもすると、無意識のうちに、「同質なものを求め、「異質なものを避けていることもあるかもしれません。「友達がするから自分もする」「友達がしないから自分もしない」そのような気持ち乗り越えて、本当に大切なことは一体何かを考え、行動していけるように、今後も、様々な場面で子どもたちと話し合っていきたいと思います。

今年もあとわずかとなりました。れんぎょうパトロール隊の皆様をはじめ、地域の方々からは、特に子どもたちの安全面を見守っていただきました。また、保護者の方々からは、こまめに連絡をさせていただき、様々などころでお世話になりました。本当にありがとうございました。来年も、どうぞよろしくお願ひいたします。